

「学まち連携大学」促進事業

「京都に学ぶ・京都を発信する」をサポートする プチコンテンツ・セルフガイド制作



取組の背景

- ▶ 京都の**地理・歴史・文学・生活・美術・音楽**は各教科の教員養成に大きく連動
- ▶ 学習指導要領改訂に伴うプログラミング教育必修化により**教員はICT活用能力**の向上が必須
- ▶ 毎年全国の約110万人の小中高校生が京都に修学旅行に訪れることから、**全国の学校教員**は京都についての知識が必要

プロジェクトの目的

教員養成の一環として学生による「京都に学ぶ、京都を発信する」プチコンテンツ・セルフガイドの制作・公開

- ① ICTを活用した教材コンテンツを制作する能力育成のための科目開設
- ② 京都に精通した専門家による講座を開講し、京都の魅力を学生が学ぶ機会を実現
- ③ 京都の魅力を学んだ学生がビデオ取材し、教材用動画コンテンツを制作・発信

取組内容三本柱

京都に学ぶ講座

プチコンテンツ制作講座

京都の魅力を発信するセルフガイド制作

京都を発信する具体的な取組内容

サポート教員スタッフ

企画調整室	岩村伸一 (理事・副学長：総務・企画担当)
京都市担当	岡田敏之 (教職キャリア高度化センター)
内容担当	香川貴志 (社会科学科・人文地理学)
ICT担当	黒田恭史 (数学科・数学教育)
地理部門	武田一郎 (社会科学科・自然地理学) 石川 誠 (社会科学科・公共政策)
歴史部門	中村 翼 (社会科学科・日本史)
文学部門	天野知幸 (国文学科・日本近現代文学) 中俣尚巳 (国文学科・日本語文法)
生活部門	湯川夏子 (家政科・食物学) 延原理恵 (家政科・住居学) 南山泰宏 (環境教育実践センター・植物育種)
美術部門	安江 勉 (美術科・デザイン) 村田利裕 (美術科・美術科教育) 丹下裕史 (美術科・陶芸) 日野陽子 (美術科・美術工芸科教育) 山内朋樹 (美術科・美術理論)
音楽部門	田中多佳子 (音楽科・音楽学) 田邊織恵 (音楽科・声楽)

京都を発信する動画制作



学生による動画取材場面



成果（平成28年度～30年度6月現在）：

① ICTを活用した教材コンテンツを制作する能力育成のための科目開設

平成31年度のカリキュラム改訂に伴い、下記を本事業の内容を取り上げる科目とする

- ・必修科目：Kyokyoスタートアップセミナー（新規開講科目）
内容：情報モラル入門、知的財産権・著作権入門、プレゼン入門
- ・選択必修科目：子どもと情報（全学生の約2/3履修）
内容：ICTとグローバル時代に対応した授業の実践例と求められる教師のスキル
- ・専攻専門科目（取材内容に応じて変化）：漢文学演習、国文学演習、社会科教育演習、作庭実習、調理科学実験・実習、器楽基礎演習、声楽演習など

② 京都に精通した専門家による講座を開講

- ・「京都に学ぶ・京都を発信する」講座
計10講座開講 延べ256名参加

③ 京都の魅力を学んだ学生がビデオ取材し、教材用動画コンテンツを開発

- ・「映像教材制作」講座
計10講座開講 延べ195名参加
- ・「京都に学ぶ・京都を発信する」プチコンテンツ制作
計80本制作 YouTube総視聴回数6,727回 1本平均約84回
- ・セルフガイドとしての専用ホームページ開設 (<http://gakumachi.kyoto/>)
平成29年10月開設（Google Map内蔵で場所と内容の双方を検索可能）

当初の計画よりプラスαの成果：

- ・②の「京都に学ぶ・京都を発信する」講座をYouTubeにアップロード
（10講座分、計63本）YouTube総視聴回数863回
- ・③の「映像教材制作」講座をYouTubeにアップロード
（5講座分、計19本）YouTube総視聴回数770回

平成30年度（7月～3月）取組内容：

- ・「京都に学ぶ・京都を発信する」講座 5講座開講
- ・「京都に学ぶ・京都を発信する」プチコンテンツ制作 40本制作
- ・京都市内の学校教員との交流（これまでの取り組みに対する評価、改善点）
- ・専用ホームページの開設周知 5,000校へDM郵送（修学旅行で京都を訪問する学校）

平成31年度取組構想（新規取組）：

- ・③の「京都に学ぶ・京都を発信する」プチコンテンツを多言語翻訳
年間約318万人の京都を訪れる外国人観光客へ京都の魅力を発信